



野生イノシシの豚熱ウイルスに対する免疫獲得状況について 2026年度第1四半期(2026年4～6月)

2026年7月

2026年度第1四半期(2026年4～6月)に捕獲された野生イノシシのうち、98個体の抗体検査を実施し、34個体から豚熱ウイルスに対する抗体が検出されました。その結果、免疫獲得率は34.7%となり、前年度の同時期に比べて2.2ポイント上昇しました(図1)。

また、この期間、99個体で豚熱ウイルス遺伝子検査を実施し、陽性と判定された個体はありませんでした。

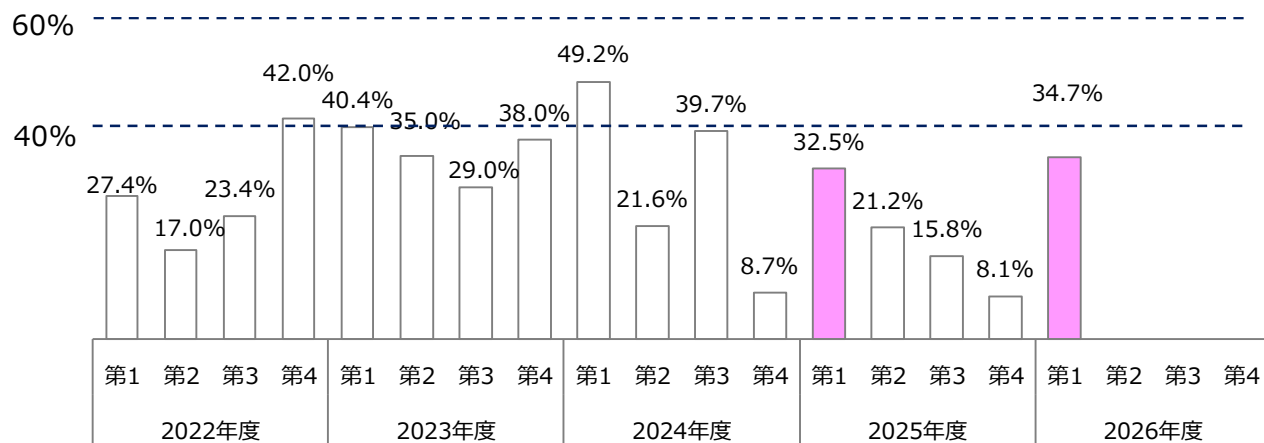


図1 愛知県の野生イノシシの免疫獲得率の推移(四半期ごと)

【参考：免疫獲得状況の調査方法及び評価について】

捕獲個体の血液を検体とし、豚熱ウイルス外殻タンパク質に対する抗体が検出されれば免疫を獲得していると判定します。欧州委員会が2010年に公表したガイドラインによれば、感染拡大防止のためには少なくとも40%の免疫獲得率が必要です。集団免疫状態と評価できるのは、免疫獲得率60%以上とされています。